

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
部 長	射場 昭典
医 長	樋口 雅俊
医 員	芝野 秀哉
医 員	上村 啓文

＜特色と概要＞

当科では、泌尿器科悪性腫瘍(腎癌、膀胱癌、腎盂尿管癌、前立腺癌、精巣癌、陰茎癌)、尿路結石症、尿路感染症、排尿障害、小児泌尿器科疾患(包茎、停留精巣)をはじめとする泌尿器科疾患全般の診療を行っている。

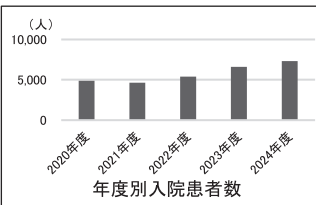
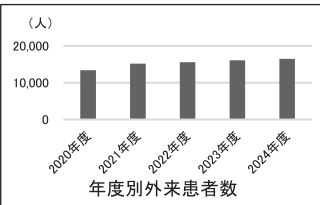
2024年3月に松浦昌三先生が退職され、4人体制となった。年間の外来患者数は16,434人(うち新規患者数は653人)、入院患者数は677人であった。当科で2024年度に施行した手術の詳細は以下の表を参考にいただきたい。主な手術は膀胱全摘除術4件、腹腔鏡手術(副腎、腎、腎尿管など)25件、ロボット支援下前立腺全摘除術47件、ロボット支援下腎部分切除術8件、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)77件、経尿道的尿管碎石術(TUL)113件、経皮的腎碎石術(PNL)19件、経尿道的レーザー前立腺核出術(HoLEP)25件などであった。

泉州地域における泌尿器科診療の基幹施設の一つとして、数多くの手術実績を地道に積み重ねていくことにより、地域社会に貢献していきたいと考える。

＜実績＞

患者数(外来及び入院、延べ人数の推移) (人)

年度	外来		入院	
	延べ患者数	1日平均	延べ患者数	1日平均
2020年度	13,367	55.0	4,874	13.4
2021年度	15,171	62.7	4,636	12.7
2022年度	15,558	64.0	5,377	14.7
2023年度	16,088	66.2	6,597	18.0
2024年度	16,438	67.6	7,303	20.0



入院患者の疾患名と人数(主病名件数 上位50まで)
(期間2024/4/1-2025/3/31退院)

主病名(ICD10コード名)	ICD10	件数
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱, 部位不明	C679	109
前立腺の悪性新生物<腫瘍>	C61	89
尿管結石	N201	84
腎盂の悪性新生物<腫瘍>	C65	42
腎結石	N200	36
尿路結石, 詳細不明	N209	35
腎盂を除く腎の悪性新生物<腫瘍>	C64	32
前立腺肥大(症)	N40	30

膀胱結石	N210	19
尿管結石	N201	17
その他の急性腎不全	N178	15
腎尿管の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 膀胱	D414	14
急性尿管結石	N10	12
尿管の悪性新生物<腫瘍>	C66	11
尿路感染症, 部位不明	N390	10
急性前立腺炎	N410	9
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱側壁	C672	8
尿管結石を伴う腎結石	N202	6
前立腺の炎症性疾患, 詳細不明	N419	5
男性生殖器の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 精巣<睾丸>	D401	4
過長包皮, 包茎及び包茎<嵌>頓包茎	N47	4
腎尿管の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 腎	D410	4
精巣<睾丸>水腫, 詳細不明	N433	3
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱三角	C670	3
血漿タンパク<蛋白>のその他の明示された異常	R778	3
体幹の皮膚腫瘍, せつくフルンケル>及びよくカルブンケル>	L022	3
その他及び詳細不明の水腎症	N133	3
腎及び尿管のその他の明示された障害	N288	3
詳細不明の血尿	R31	2
陰のう<嚢>及び精巣<睾丸>の開放創	S313	2
貧血, 詳細不明	D649	2
尿路系プロステシス, 挿入物及び移植片による感染症及び炎症性反応	T835	2
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱後壁	C674	2
その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物<腫瘍>, 副腎	D350	2
龟头包皮炎	N481	2
背部痛, 詳細不明, 下腿	M5496	2
尿管の奇形	Q644	2
前立腺腫瘍	N412	2
胆のう<嚢>炎を伴わない胆のう<嚢>結石	K802	1
処置に合併する出血及び血腫, 他に分類されないもの	T810	1
十二指腸閉塞	K315	1
直腸の悪性新生物<腫瘍>	C20	1
膀胱の悪性新生物<腫瘍>, 膀胱前壁	C673	1
停留精巣<睾丸>, 患側不明	Q539	1
細菌性肺炎, 詳細不明	J159	1
内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>, 副腎	D441	1
慢性前立腺炎	N411	1
その他及び部位不明の上皮内癌, 膀胱	D090	1
詳細不明の萎縮腎	N26	1

検査治療数集計(*は重複あり)

診療明細名称	件数
副腎摘除術	2
腹腔鏡下副腎摘出術	2
単純腎摘除術	2
腹腔鏡下腎摘出術	2
根治的腎摘除術	29
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	21*
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)(原発病巣が7センチメートル以下のもの)	8
腎盂形成術	1
腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いて行った場合)	1
腎尿管全摘除術	21
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術	21*
膀胱全摘除術	4
膀胱悪性腫瘍手術(全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの))	1*
膀胱悪性腫瘍手術(全摘(腸管等を利用して尿路変更を行わないもの))	3
回腸導管造設術	1
膀胱悪性腫瘍手術(全摘(回腸又は結腸導管を利用して尿路変更を行うもの))	1*

診療明細名称	件数
前立腺全摘除術	47
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	47
精巣摘除術	4
精巣悪性腫瘍手術	3
精巣摘出術	1
精巣固定術	1
停留精巣固定術	1
包茎手術	10
包茎手術(環状切除術)	10
PNL(経皮的腎結石破砕術)	19
経皮的尿路結石除去術(経皮的腎瘻造設術を含む。)	19*
TUL(経尿道的尿管結石破砕術)	113
経尿道的尿路結石除去術(その他のもの)	3
経尿道的尿路結石除去術(レーザーによるもの)	110
膀胱碎石術	16
TUR-P/HoLEP	25
経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術(ホルミウムレーザー又は倍周波数レーザーを用いるもの)	25
TUR-Bt	77
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(その他のもの)	2
膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的手術)(電解質溶液利用のもの)	75
腎盂尿管鏡検査	14
腎盂尿管ファイバースコープ(片側)	14
ESWL	56
体外衝撃波腎・尿管結石破砕術(一連につき)	56*
腹腔鏡下尿間膜摘出術	2
腹腔鏡下尿膜管摘出術	2
創部縫合術	5
創傷処理(筋肉、臓器に達しないもの(長径5センチメートル未満))	5

(診療報酬請求の番号の発出を元にカウントした件数)

＜今年度の反省と来年度への抱負＞

外来患者数、入院患者数および手術件数は前年より増加し、2023年12月当院に導入された手術支援ロボット「ダビンチXi」によるロボット支援手術は、順調に症例数を重ねている。

泌尿器科の進歩は著しく、外科的治療では腹腔鏡手術やロボット支援手術といった低侵襲治療が普及し、薬物治療では革新的な新薬が次々に産み出されている。今後とも多くの患者から「ありがとう」と言ってもらえるように、最新で良質な医療を安全に提供できるように日夜診療に励む。

昨年度と同様に救急患者や時間外患者を診察し、ロボット支援手術を積極的に行うことにより、入院患者数(年間650名以上)および手術件数(年間400件以上)を増加させる。